

観光経済

現代美術館について

質問 平成二十年度の入館者数と予算が大きく異なった支出について伺いたい。

答弁 平成二十一年三月十二日現在、常設展九万五千八百九人、企画展六万九千八百十六人、延べ十六万四千八百二十五人となっているが、実人数は約一二万人と推計している。

予算については、賃金が当初予算三百八十八万円であったが、二月末で約七百六十九万円の支出となり、三百八十一万円の増となっている。これは、入館者数が多くなったことによる、常設展や企画展の受付、案内業務をするパートタイマー等の増員によるものである。

質問 友の会設立及び来館者からのアンケート結果の公表について伺いたい。

答弁 友の会は、美術館運営に必要であり、新年度の設立に向けて現在準備を進めている。友の会には、市民にも加入してもらい、市民目線に立って美術館運営

をしていきたい。

また、来館者からのアンケートは、これまで一千九百枚ほど届いている。その中には貴重な感想、意見が多数あり、美術館の日々の運営に活用している。これらの意見等は、美術館発行のニュースレターやホームページなどに掲載し、よりよい美術館にしていきたい。



現代美術館 販

市農政について

質問 当市の農業所得向上対策、農林畜産物等のブランド化、付加価値化、販売戦略について伺いたい。

また、これらを生かすための対策について伺いたい。

答弁 農業所得向上のためには、安全安心でよいものを生産して行くこと、生産

コストを下げ、経営の安定を図っていくこと、加工への取り組みにより付加価値を高め、有利販売していくことが必要である。このことから、ブランド化については、地域において差別化が図られていること、定時定量出荷の体制が整っていることなどを進めていかなければならない。

付加価値化については、関係団体と連携し、第一次生産品のほか、規格外品、格付の低い農作物も加工することにより付加価値を高め、有利販売につなげていく必要がある。

販売戦略については、消費者や実需者のニーズを的確にとらえ、売り込みをしていくことが重要であることから、県が積極的に推進している攻めの農林水産業と密接な連携をとりながら、販路拡大、ブランド化に取り組んでいかなければならない。こうした中で、新規需要をを活用した米粉製造や、それによる新たな商品等も今後具体的に検討していく必要がある。

平成二十一年度は、農林水産物のブランド化や流通販売対策に対応する専任の職員を配置し、庁内にプロ

ジェクトチームを発足させ、生産者、農協、団体等との緊密な協力体制により、攻めの農林水産業と連携しながら有利販売に向けた展開を強力に進めていきたい。

中心市街地活性化について

質問 現代美術館と中心市街地商店街が連携する割引制度について伺いたい。

また、観光施設等と宿泊施設が一体となった取り組みについて伺いたい。

答弁 現代美術館と中心市街地商店街が連携を図り、現代美術館の来館者が中心市街地商店街で買い物をしたときにサービスを受けられるアートまちづくり協賛店システムを構築し、その情報の発信を行うアートまちづくり協賛店事業を平成二十一年度を実施することとしている。

また、市内のホテルなどに宿泊した方が市の観光施設などに無料で入場できるという特典は、宿泊者の増加や滞在時間の延長につながるのと同時に、食事やお土産などの購買力が高まり、観光消費額が上がることを考えられる。これらの事業を行うためには、財源のほかに

関係団体との調整が必要になるので、費用対効果を考えて検討していきたい。

建設

施設案内表示について

質問 官庁街通りの施設案内表示とその表示規制について伺いたい。

答弁 平成二年度から五年度までに、官庁街通り整備事業として各事業所前の植樹帯に太陽光発電電を利用した施設名表示柱が二十九カ所設置されている。この施設名表示柱は、官庁街通りの松、桜並木及び四季の花々の景観を損なわないようにデザインを控え目にしている。今後中心市街地活性化事業において施設利用者の誘導のためのサイン計画を策定予定であり、官庁街通りの景観に配慮しつつ検討していきたい。



現在の市道太田岩井口新屋敷線

道路行政について

質問 市道太田岩井口新屋敷線の整備計画について伺いたい。

答弁 当該路線は、合併前の平成九年から県営一般農道整備事業で狭隘な町道及び農道の拡幅整備を行ったが、用地取得について地権者から理解が得られず、一部未整備のまま平成十六年度に事業を終了している。その後、平成十七年十一月に県から譲与を受け、現在市道として管理している。事業終了後も地権者との用

また、表示規制については、道路法等関係法令により設置場所等についての制限があり、また、青森県屋外広告物条例により、設置規模等については許可を要する。

